

数学科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア	イ
【数学的な技能】 基本的な計算処理能力	【数学的な考え方・見方】 身の回りの事象を数学的にとらえて考える力

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 小学生で習う分数・小数などの計算問題に苦手意識をもつ生徒がいる。ア 文章問題に苦手意識をもち、自ら進んで考える力が不足している。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の演習時に、より多くの問題演習ができるようプリントを作成している。ア 文章問題を得意とする生徒が同問題に対し、苦手意識のある生徒間での説明や質問などの交流の場を意図的に設けていく。イ 	<p>毎授業</p> <p>12月</p>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 計算する能力に違いがみられる。答えが整数にならない場合の答え方ができない生徒がいる。ア 問題の意味を理解できないため、正解に至らない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 計算練習時に、サブプリントを用意し、段階的に解いていけるように工夫している。ア 文章題では答えに至る経緯を答えさせ発表させるようにしている。難しい問題や理解しづらい問題の時は、グループ学習で解き方を共有させている。イ 	<p>毎授業</p>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 正負の数の加減乗除の基本的な計算問題を正しく処理できない生徒がいる。ア 具体的な事象を図や表、グラフを基に考える力が不足している。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業の演習時に、正しい計算方法についての確認を丁寧に行う。ア 生徒が自ら図をかきながら考え、課題に取り組む時間を十分に確保する。イ 	<p>毎授業</p> <p>12月～1月</p>	

<p>■主体的・対話的な学習活動について</p> <p>1年 授業後半での演習時の教え合い活動</p> <p>2年 基本的には自分自身で解決、グループになり解き方を共有する活動</p> <p>3年 演習時の教え合い・話し合い活動</p>	<p>■授業の終末の工夫</p> <p>1年 本時の振り返りと次回への繋がりを確認する。</p> <p>2年 狙いが達成できたかどうか、不十分な場合は問題集への取り組みを指示する。</p> <p>3年 学習内容を整理し、振り返りを行う。</p>
--	--